

し相互脈絡調整の喫緊事なるは更に多言を要せずして明かである。之が爲には速かに國道路線網構築の再検討重要地方道路の整理調査鋪裝施工の普及等を遂行し以て新國策に即應して國運の發展に資する所あらしむべく吾人は一段奮勵努力し精進しなければならぬと信ずる。

道路法施行二十周年に際して

成 田 一 郎

道路法が大正九年四月に施行せられて以來本年を以て茲に二十周年を迎ふ。其の間に於て路政に對する一般の認識は彌向上し路政當局者の努力と相俟つて我國の道路が逐年改良維持の實蹟を擧げつゝあるは邦家の爲め洵に欣幸に絶へぬ次第である。

惟ふに道路は一國の國防産業の根幹を爲すものである。道路法二十周年を迎へたる本年内外の諸情勢に對處すべく國家總力を發揚すべきの秋今日に勝るものはない。斯る秋に當り道路事業は謂はゞ凡ゆる國家政策の基調をなすもので近時提唱せらるゝ高度國防國家建設と云ひ國土計畫と

云ふも結局は道路建設と密接不可分の關係あるを看過してはならない。

斯る意味に於て逐年道路改良の實蹟顯著なるものと云ふも前途には尙無限の使命が存するのである。

○

道路事業は全國家政策の基調を爲すと同時に亦其の一環を形成するものである。故に物資と勞力とに稍もすれば潤澤を缺かんとする現時道路建設にても一段の努力と工夫を要するのである。個々の道路より有機的綜合的なる道路を考へ時局に對應すべき最も合理的なる建設方法が企圖せられねばならない。道路行政の職に任ずる者益々意を新たにし職域奉公の實を擧げねばならぬと痛感する次第である。

x

x

x

x

x

x

x

x